

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区 東北北海道ブロック協議会
2026年度会長所信

東北北海道ブロック協議会
会長 石井 恭平

【はじめに】

皆様は、人生でどんな瞬間に「自分が変わった」と感じたことがありますか。

私はその瞬間を実感したのは、青年会議所に入会してからです。

地域の未来を語るには、あまりにも経験が浅く、覚悟もなく、ただ「何かをしてみたい」という想いだけでした。しかし、青年会議所での活動は、私に未知の世界を体験させてくれました。挑戦、失敗、成功、そして心を通わせた仲間たち。その一つひとつが自分を形づくり、私という人間を新たに創り直してくれたのです。

人は、経験によって成長し、挑戦によって変わる。この原理を、私はJCで学びました。出向や事業構築を通じて出会った仲間たちは、皆それぞれの地域を愛し、誇りを持って活動していました。そんな姿に触れるうちに、私の中にも芽生えました。

「自分のまちをもっと良くしたい」

「このまちを、未来の子どもたちに誇れる場所にしたい」

今、東北北海道ブロックは大きな岐路に立っています。少子高齢化、人口流出、会員減少、そしてLOMの解散。これらの現実は一層厳しく、未来への不安を感じる人も多いかもしれません。しかし、私はこの状況を「危機」ではなく、「挑戦のチャンス」と捉えています。挑戦する人がいる限り、希望は消えません。行動する仲間がいる限り、地域の未来は輝き続けます。昨年導入した「2ブロック制」を通じ、より近く、より濃く、より本質的にLOMを支援してまいりました。地域に根ざした運動を再構築し、ヒトとまちのつながりをもう一度強くしていくためです。

青年会議所は、ただの団体ではありません。

それは「挑戦できる場所」であり、「未知の世界を体験できる場」であり、「出会いが人を磨く学び舎」です。ここで得た経験は、必ず自分を成長させ、まちを動かす原動力となります。

私は信じています。一人ひとりの成長が、やがて地域の発展につながり、東北北海道の未来を形づくるのだと。だからこそ私は、挑戦を恐れず、仲間と共に歩み続けます。

私たちJayceeが出会い、挑戦し、成長すること——それこそが、この地域の希望です。

未知への一歩を踏み出し、共に未来を創っていきましょう。

【徹底的なLOM支援】

青年会議所に所属していても、「理想を描き、理想に向かって行動する」という本来のJC活動を実現することが難しいLOMがあります。その背景には、会員数の減少、経験者の不足、そして事業構築におけるノウハウの継承が途絶えつつある現実があります。

しかし、どのLOMにも、まちを良くしたいという想いの火種は必ず存在します。私たちは、その火を絶やすことなく、再び大きな炎へと育て上げなければなりません。

会員拡大は最重要課題であることに変わりはありません。しかし、単に人数を増やすことが目的ではありません。それは「まちを想い、行動する仲間を増やすこと」であり、「地域に必要とされるLOMの存在意義を再構築すること」です。

東北北海道ブロック協議会では、要支援LOMに対して徹底的な伴走支援を実施します。組織運営の再構築から拡大戦略、事業構築のサポートまで、ブロック全体で知見と人材を結集し、各LOMが再び“挑戦するJC”として立ち上げられるよう支援します。

ブロックが率先して現場に入り、共に汗を流し、共に考え、共に歩む——その姿勢こそが、地域の信頼を取り戻し、LOMの自立と成長を導く原動力となります。

JCの原点は「行動すること」にあります。理想を語るだけでは、まちは変わりません。行動を起こすLOMの一つでも多く生み出すために、私たちは全力で支援し、共に挑戦してまいります。

【LOMとLOMをつなげる】

近年、近隣LOM同士の交流が減少し、地域間のつながりや情報共有が希薄になっています。その結果、地域の課題に対する理解や対応が遅れ、運動の広がりや影響力にも影を落としています。

今こそ、LOMの枠を越えて互いに支え合い、地域に根ざした連携を再構築することが求められています。東北北海道ブロックでは、各LOMが持つ強みや個性を生かしながら、互いの想いを共有し、共に歩む関係性を築いていきます。

メンバー同士が刺激し合い、新たな気づきを得ながら地域の課題解決に取り組むことで、これまでにない可能性が広がります。その過程で育まれるのは、地域を超えた信頼と連帯の絆です。互いの存在を認め合い、協働を通じて挑戦する中で、メンバー一人ひとりがリーダーとして成長し、地域に希望と変化をもたらす原動力となります。

LOM間のつながりを強め、連携の輪を広げることで、東北北海道ブロック全体が一体となり、地域社会の未来を共に創り上げていく持続的な運動へと発展させていきましょう。

【青年会議所の基礎を知る機会の創出】

皆さんは、入会して間もない頃、青年会議所で何を学び、何を感じ、何を成し遂げたいと思ったのでしょうか。

私自身も入会したての頃は、漠然と「何かをしてみたい」という想いだけでした。しかし、経験を重ね、仲間と共に挑戦する中で、青年会議所の理念やビジョンが自分の行動の羅針盤となることを知りました。

東北北海道ブロック協議会では、入会3年未満のメンバーが増える中で、議案構築や例会の意義、マナーなどLOMの長年の理念が十分に浸透しにくい現状があります。だからこそ、青年会議所の基礎を学び、理念を自分ごととして実感できる機会を創出することが必要です。

私たちの目指すのは、単なる知識の習得ではありません。参加者一人ひとりが、青年会議所が何を目指し、何を果たすのかを理解し、そのために自分が何をすべきかを体験を通じて学ぶ場を提供します。仲間と共に考え、議論し、行動するグループワークを中心に進めることで、理念を「知る」だけでなく、「感じ」「動き」「つながる」体験へと昇華させます。

この取り組みを通じ、参加者が青年会議所の魅力を心から実感し、自らの可能性にワクワクできる人財へと成長すること——それこそが、私たちの使命であり、地域の未来を創る確かな力になると信じています。

【家庭から始まる持続可能な地域づくりへ】

私たちの地域が真に強く、持続可能であり続けるためには、社会の最前線である「家庭」がその礎でなければなりません。

災害時に家族の命を守る力を育むこと、そして日常の暮らしの中から地球環境を守る意識を育てること——この二つの意識が根づくことで、地域の未来はより確かなものになります。

近年、気候変動や大規模災害が頻発する中で、私たちは「備えること」と「減らすこと」の両輪で地域を守る責任を担っています。防災においては、家庭が自ら考え行動する力を持つことで地域全体の安心と安全が築かれます。環境においては、家庭から始まる小さな行動の積み重ねが、持続可能な社会を実現する大きな力となります。

東北北海道ブロックでは、「家庭」を原点とした運動を展開し、一人ひとりの行動変容を通じて地域全体の意識改革を進めます。防災の知恵と環境への思いやりを家庭から広げることで、誰もが安心して暮らせる、強くやさしい地域をつくる。それこそが、次世代に引き継ぐべき使命であり、未来への希望です。

家庭が変われば、地域が変わる。地域が変われば、日本が変わる。

今こそ、私たちの手でその連鎖を生み出し、家庭から未来を創る運動を共に進めてまいりましょう。

【機会を通じて広がる学びと成長の循環】

青年会議所には、自己の成長と地域の発展を両立させる多くの「機会」が存在します。2026年度には、帯広の地で第39回JCIアカデミーが開催されます。この国際的な舞台は、世界の仲間と出会い、共に学び、志を高め合う貴重な機会となるでしょう。

こうした一つひとつの機会は、組織としての成長の糧であると同時に、メンバー自身の人生を豊かにするものです。東北北海道ブロックとしても、各地で展開される日本青年会議所の運動や多様な学びの機会を、所属する全てのメンバーに確実に届けてまいります。

機会に触れることで視野が広がり、価値観が磨かれ、地域の運動をより深く理解し昇華することができます。その積み重ねこそが、地域を動かす力となり、未来を切り拓く人財の育成へとつながります。

私たちは、ブロックとしての使命を果たすために、機会を「創り」「伝え」「活かす」循環を生み出してまいります。すべてのメンバーが自らの成長を実感し、地域社会のより良い未来へとつなげていけるよう、東北北海道ブロックは確かな責任をもってその架け橋となります。

【運営を支える総務】

設立から二年目を迎える東北北海道ブロックにおいて、運営の基盤を整え、次年度へ確実に引き継ぐ仕組みを築いていきます。会議や文書管理など、一つひとつの丁寧な準備が組織の信頼と品格を形づくりします。

また、会議の場では、オンとオフの切り替えを大切にしながらも、厳格で引き締まった雰囲気を生み出す設営を行なっていきます。

縁の下の力持ちとして、誇りをもってブロック全体を支える原動力となり組織を支えてまいります。

【結びに】

私たちは、日々多くの選択を積み重ねています。その一つひとつが、地域や社会、そして未

来に少なからず影響を与えます。東北海道ブロックは、今まさに新しい時代の入り口に立っています。明確な答えがあるわけではありませんが、考え、議論し、行動を積み重ねることが、地域の未来をつくる唯一の方法です。その先には、確かな成果と希望が必ず存在すると私は信じています。

青年会議所での経験は、私に「挑戦する力」と「信じ抜く力」の大切さを教えてくれました。仲間と出会い、支え合い、時には意見をぶつけながらも共通の目標に向かって歩む中で、人は成長し、より強く、より責任ある存在になれることを実感しました。この経験があるからこそ、私は挑戦することの意味と、それが地域にもたらす力を確信しています。

この一年を通じて、私は誰かの挑戦を後押しできる存在でありたいと考えています。そして、東北海道の全てのLOMが、自らの誇りと可能性を信じ、地域の未来に向けて力強く歩み出す姿を、共に実現していきたいと思います。仲間と意見を交わし、共に学び、共に行動することが、地域全体の力となり、持続可能な発展につながると確信しています。

私たち一人ひとりの行動が、地域の未来をつくります。挑戦を恐れず、責任を持って行動することが、次世代へつなぐ希望となります。出会った仲間と共に、地域をより良くするための新しい一歩を、共に踏み出してまいりましょう。